

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費

事業名 **新** 東濃牧場飼料保管施設整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 畜産振興課 酪農・飼料係 電話番号：058-272-1111 (内 2874)

E-mail：c11437@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 19,403 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	19,403	0	0	0	0	0	0	0	19,403
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県東濃牧場では、県の家畜育成牧場として乳用牛 790 頭、肉用牛 60 頭を飼養しており、飼料として年間 532 t の混播牧草を生産し給与している。

5 月から 9 月にかけて収穫した牧草は通年給与するため、フィルムで密封梱包し、長いもので密封後 9 カ月程度保管する。東濃牧場にはこれを保管するための専用の保管施設がなく、牛舎横などのスペースで野積み保管しているが、屋外であり、風雨にさらされること、また野生鳥獣の食害、破損による保管中の品質劣化が問題となっている。また、飼育管理作業の動線に隣接しているため、積み上げてある牧草 (ロールベール) が崩落した場合、重大事故を招きかねない。

(2) 事業内容

長期屋外保管が必要となる保管場所に、ロールベールを直射日光や風雨による劣化や野生鳥獣の食害から完全に乖離して保管できる施設を整備し、牛の健全な発育を確保する。

施設周辺から離れた保管場所を設置し、作業機械の安全な動線を確保するとともに擁壁を備えることで崩落防止を図り作業従事者の安全確保を図る。

屋外の野積みを解消することにより野生鳥獣の接近を抑制し、口蹄疫、CSF

(豚熱) など家畜伝染病の発生予防に資する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担 10/10

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	17,639	飼料保管施設工事費
消費税	1,764	
合計	19,403	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 岐阜県家畜改良増殖計画 (R7 目標)
- 岐阜県酪農肉用牛生産近代化計画 (R7 目標)
乳用牛 (経産牛) 頭数 5,300 頭

(2) 事業主体及びその妥当性

県営牧場の施設整備のため、県が実施する。

事業評価調査（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 岐阜県東濃牧場および岐阜県飛騨牧場の管理に関する基本協定書に基づき、適正に牧場の維持管理を行う。家畜育成事業を円滑に行い、優良な乳用初妊牛及び優良な和牛子牛の安定供給を継続して行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
乳用初妊牛譲渡頭数 （東濃牧場）	(H)	369 (H29)	372 (H30)	445 (R1)	500 (R3)	89%
和牛子牛供給頭数 （飛騨牧場）	(H)	179 (H29)	185 (H30)	185 (R1)	215 (R3)	86%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	健康な家畜を育成するため、飼料の品質管理を行う必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 飼料の品質劣化によりコストが増大するとともに、健全な家畜育成に支障をきたしている。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	